

【進学指導】【国際理解教育】【探究的な学び】【豊かな人間性の育成】

Tokyo Metropolitan  
SHOYO High school  
information

# はばたき

高尾から夢の実現

Vol.69 令和2年10月10日発行

【住所】〒193-0944 八王子市館町 1097-136

【電話】042-663-3318 [FAX] 042-663-3362

<http://www.shoyo-h.metro.tokyo.jp/>

翔陽高校には、在学中に留学に挑戦する生徒が何人もいます。留学体験記を紹介します。

## 留学体験記



渡辺 詠多 UTA WATANABE

2年次生(15期生)

【出身中学校:日野市立日野第一中学校】

☆留学先 : スペイン Espara MoGUER ERS

☆留学期間 : 2019年9月18日～

2020年6月20日

☆留学斡旋団体 : Hippo Family club



高校1年生の9月から高校2年生の6月までの約9ヶ月間、スペインに留学してきました。“情熱の国”というスペイン、そして幼いころからの憧れであった『スペイン語』を自然習得するために、この留学を決めました。スペインにいる9ヶ月間、本当に多くの経験をさせてもらいました。初めは、日本語、英語と全く違うスペイン語がなかなか理解できず戸惑いました。しかし、2ヶ月、4ヶ月、6ヶ月と時を過ごしていくことで、ホストファミリーや友達、地域の人々からたくさんのスペイン語をもらい、自分のポキャブラリーが増えていきました。書いて覚える勉強だけではなく、実際にその国、その地方で言葉にどっぷりつかることがとても面白く、その国の言語を習得するうえで大事なことだと改めて感じました。

留学中、楽しい経験はもちろん、自分にとってはつらい経験もありました。例えば、「差別」についてです。最初の頃、私はまったく差別などなく楽しく過ごしていました。しかし、世界中でコロナウィルスが爆発的に広がっていた2020年2月頃から、差別するような態度を全く知らない人からとられるようになりました。「chino!(中国人)」と、通りすがりの人に大きな声で言われた時はとても怖かったです。周りの友達は、「気にしなくていいんだよ」と声を掛けてくれましたが、ずっと心に引っかかっていました。その当時の私には、とても深く心をえぐられるような出来事でした。しかし、帰国した今、この出来事は私にとって貴重な経験だったと考えています。どこからが差別になるのか分かりませんが、自分が深く考えずに口にした言葉が、もしかしたら誰かを傷つけているのかもしれない。言葉は時に相手の心を深く傷つけるとてもない凶器になってしまう。当たり前に分かっているつもりでしたが、自分が実際に体験することで、改めてきちんと向き合っ考えることが出来ました。

留学に行ったことで、「言語力」はもちろん、自分の精神的な部分、考え方も大きく成長するきっかけになりました。また、自分の視点とは少し違う視点から物事を考えて行動することができるようになりました。今までの中で一番充実し、多くのことを学んだ9ヶ月間でした。今後の人生でも、スペインでの経験を生かして、自分の夢に向かって努力をしていきたいと思います。



### 一番楽しかった思い出

スペインでの学校生活  
(行事&日常生活)

### スペイン留学で得たもの

価値観の違いを楽しむ力

Let's go to SHOYO!



事前予約制です。HPをご確認ください。

#### 授業公開週

10/12(月)～10/17(土) 11/2(月)～11/7(土)  
10/14(水)は休業日 ※水・土曜日は4時間目まで

#### 学校説明会

11/7(土) 2回実施  
10/17(土) 2回実施 10:00～、14:00～  
10:00～、14:00～ 12/12(土) 14:00～